

## 奈良巡りの会「東大寺を深く知ろう」参加報告書

今日は「奈良巡り」で東大寺へ行ってきました。昨今は秋も深まり、朝夕は肌寒いほどの気候となってきましたが、当日は好天に恵まれて青空に紅葉も鮮やかに映えるなか、顔なじみの皆さんと楽しい一日を過ごすことができました。

### <当日のスケジュールと感想>

#### ① 午前10時に東大寺南大門へ集合、総勢18名

久しぶりに訪れた南大門のスケールは圧巻。門の北側が集合場所となっていたものの、南側で待っている会員に気づかないくらい。よその金剛力士像(仁王さん)の阿形と吽形の立ち位置が左右逆となっていることに改めて気がつきました。大解体修理で金剛力士像各一体が3千からなる部材で寄木造がなされていることがわかったそうです。

#### ② 東大寺ミュージアム

京都や吉野にも古いものは多いですが、さすが東大寺の遺物には奈良時代のものが多く残り、マニアにはたまらないかも。

#### ③ 大仏殿

大仏は毘盧遮那仏(如来)の坐像ですが、それと同体の大日如来は私(4月生まれ)の守護神なので、何度拜んでもホッとします。大仏殿前の天平時代の八角燈籠の竿の部分に「貧者の一灯」のお経が書かれているとのことでした。

#### ④ 鐘楼

今日の鐘楼に収まっている梵鐘は日本三大名鐘のひとつ「奈良太郎」です。鐘の下から覗くと、その大きさに驚きます。ちょうど道成寺で清姫から隠れた安珍の気分。聞けば「除夜の鐘」以外は每晚8時に撞かれて時を告げるのだとか。「柿食えば鐘が鳴るなり東大寺(のちに法隆寺)」で、正岡子規が聞いた鐘の音はこれです。

#### ⑤ 手向山八幡宮

奈良時代に九州の宇佐八幡神を大仏の守護神としてお迎え。なかでも境内の2百年は越えるであろう杉の大木に見とれてしまいました。

#### ⑥ 昼食

芝生のテーブルで3つのグループに分かれて弁当を広げました。記念写真では奈良公園名物の鹿も遠慮がちに近づいてくるのですが、傍には来ない。いったい誰がコワイのか?

#### ⑦ 三月堂

法華堂(三月堂)は東大寺に残る最古の建物。本尊は不空羂索観音で、腕

は六臂(6本)かと思っていましたが、よく見ると「網」を持つ手の下にもう2本の腕があり、三目八臂(さくもくはっぴ)であることを発見。額に開いている瞳がコワイですね。

⑧ 四月堂

こじんまりとした空間で、他の建物と違って肩の凝らない雰囲気は何よりです。

⑨ 二月堂

サラリーマン時代に接待で寒いとき、何度もお客さんを「お水取り」の行事に案内した記憶があります。思えば二月堂前の三代目良弁杉がだいぶ大きくなりました。

⑩ 戒壇院

拝観後に境内でミュンヘンから来ている、ドイツ人女性ふたりのアーティストと会談。わたしのドイツ語ではナンパに失敗したものの、持参していた自動翻訳機の精度に感心。戒壇院の四天王像は元から安置されていたものではないので、どこから運ばれてきたのであろうか。

⑪ 「工場跡」にて希望者のみ喫茶、午後3時半に解散

戒壇院を少し進んだところにある塾員経営の喫茶店「工場跡」にて美味しいコーヒーとお菓子で休憩。ここは登録有形文化財に指定されているそうです。

さすがに奈良に住んでいるので東大寺は何度も訪れていますが、平越さんにご案内いただいて、細かい点で新しい発見が幾つもあり、まさに「知っているようで、知らない東大寺」となりました。いつも本当に有難うございます。次回の奈良巡りも楽しみにしています、懲りずに、また誘ってください。

令和元年11月30日  
昭和54年 法学部法律学科 卒  
堀内威男(ほりうちたけお)